

3月のほけんだより

呉市役所
子育て施設課
0823-25-3144

令和3年 第244号

子どもの花粉症

子どものスギ花粉症は年々増えており、5～9歳で30.1%、10～19歳で49.5%と大人の発症率と変わりありません。

スギ花粉症が疑われた場合、花粉が飛散する時期（1月下旬から4月）と風邪やインフルエンザが流行する時期が重なる上、幼児においては症状を具体的に伝えることが難しいため診断が難しく注意が必要です。

花粉症の時期に熱は無いのに
“くしゃみ”や “鼻水”が止まらず“目の
かゆみ”を伴う時は“スギ花粉症”が
疑われます。

ハア～

ハア～

クシヨ～ン

ハア～クシヨ～ン



ハア～クシヨ～ン

ゴシゴシ

ゴシゴシ

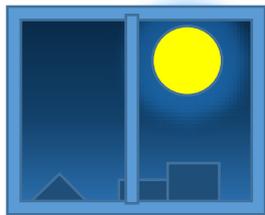


ゲシヨ～ン

ゲシヨ～ン



花粉症の季節は鼻や目のつらい
症状が勉強や運動といった活動を
低下させ日常生活に大きな支障を
与えます。



花粉症の症状(鼻水, 鼻づまり, くしゃみなど)のために**夜間よく眠れない**とそれが原因で睡眠不足となり**翌日の活動に影響**を与えることがあります。



花粉症の治療は、基本的に… 大人も子どもも同じです！

症状に応じて、抗ヒスタミン薬などの飲み薬や、ステロイドの点鼻薬などで治療します。今まで大人にしか使用できなかった第二世代の抗ヒスタミン薬も子どもに使用できるものが増えており、以前と比べて薬の選択の幅が広がりました。



学校などの集団生活の中で、花粉症のためにみんなと同じように活発に活動ができないのは、子どもにとっても悲しいことです。正しい治療で花粉症の症状をしっかりと押さえることにより、普段と同じ日常生活を送れるようになることを子どもに教えてあげてください。そのためにも花粉症が疑われるときは医療機関(耳鼻科など)を受診し、子どもの症状に応じた適切な治療を受けてください。

(参考:鼻アレルギー診療ガイドライン 2020年版)

ほけんだよりは、くれ子育てねっとの子育て支援サービスでもご覧になることができます。

URL <http://www.kure-kosodate.com/>